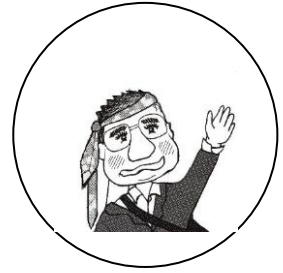


# 大魔王のお笑い神話



謎の超笑力をもつ大魔王が、あなたに贈る不思議なムダ話

発行：トラベル・ミトラ・ジャパン

ぼん子画

(530-0041) 大阪市北区天神橋 1-18-25 第3マツイ・ビル 201 TEL: 06-6354-3011

お笑いエッセイのメール発信をご希望の方は、ご連絡下さい。(E-mail: daimao@travelmitra.jp)

## 鳥取のマニプリ舞踊団顛末記

本年一月末にインド領事館から連絡があった。国際ヨガDAY関西(IDY)を鳥取県で催したいとの打診であった。IDY関西というからには、鳥取県は番外になる。関西は大阪、京都、兵庫(神戸)、奈良、和歌山、滋賀、三重の七府県からなる。巷間に「影の実行委員長、(注:裏方仕掛人)と言われるわが輩でも、この枠から外れて独断的に実施することはできない。そこで国際ヨガDAY西日本という新たな枠組みをつくれればよいと返答しておいた。実際、昨年10月29日(日)香川県善通寺で「空海・ヨーガ」が実施された。広島市からも打診があった。だから、あながち「IDY西日本」もわが輩の独断ではない。

そのあと、再び鳥取県の会場について相談があった。「4月16日の会場が見つからない」と。ここでわが輩のミステーク・誤認があった。てっきり「ヨガの会場」だと思い込んでしまったのである。わがネット・ワークで、鳥取市・米子市・境港に問い合わせたが、いずれの会館も休館日(火)で確保できなかった。そこで、鳥取在のわが大魔王一族の「大マ神」に救いを求めた。

「よし、分かった。わしがヨガの会場をなんとかしてやる！」

即座に、三朝温泉(倉吉市)の体育館を、休館日にもかかわらず強引に確保したのである。しかも日本海新聞記者にも公言してしまった。ところが翌日領事館から、県庁が鳥取市の鳥取県立生涯学習センター(県民ふれあい会館)を確保した、と連絡があった。

さてさて、わが大マ神の憤ること、いかること。

「県庁もできないというので、わしが確保したのに一体どういうことだ！」

実はこの大マ神は従兄で、わが輩をインドに送り込んだ張本人(功労者)である。

「わしはあんな汚いところに行かないが、おまえは行って来い！」と。そのようなわけで未だに頭が上らない兄貴である。

三月中頃、またまた領事館から連絡が入った。県庁に確認したら「観客予約がゼロ」だと判明した。開演まで一ヶ月もないのにゼロとはどういうことだろうか。前代未聞のイベントになる。わが輩はこの段階でヨガではなく、マニプリ古典舞踊団だと認識した。

わが輩のトラウマが再発してきた。昔、御堂会館でサロッドのコンサートがあった。会場に入ると10名程の来場者が座っていた。わざわざインドから来日した演奏者が気の毒で、きのどくで、音楽を楽しむ気持ちになれなかった。

このトラウマを鳥取県人に発症させてはいけない。再び大マ神にご出陣を乞うた次第である。ところが、

「知事も、副知事も、そんなイベントを知らんと言っとるぞ！」

大魔神は知事の後援会長で、直通電話をもっている。またまたわが輩が“いい加減な男”になってしまった。アンビリーバブルなことに、日印友好行事の舞台挨拶は係長が予定されていて、知事ではなかった。そこで大魔神が憤った。

「わしが知事に言っただろ！」

結論から言うと、知事が登壇して粹な挨拶をした。

顛末はこれくらいにして、公演内容を記しておこう。

マニプリといえば、すぐにインドを思い出す人は、たぶんインド通の人だろう。マニプリ舞踊は、インド北東部のマニプル州の踊りのことである。

第1部 南インド舞踊バラタナティヤム/福田麻紀&アムリッタ・ダンス・カンパニー

第2部 マニプリ古典舞踊 (カンゲンバム・コニ博士舞踊団)

カンゲンバム・コニ博士は、インド政府文化省の Sangeet Natak Yuva Puraskar 賞やマニプル州政府 Kala 賞など受賞した著名なマニプリ古典舞踊の指導者。マニプル州都インパールのジャワーハルラル・マニプリ舞踊アカデミーのマニプリ舞踊金賞受賞者でもある。西ベンガル州ヴィスヴァ・バラティ大学 (タゴール国際大学) でマニプリ舞踊の博士号を取得。現在、マニプル大学講師。

ついでに、マニプル州についても記しておこう。

州都はインパール (花の家の意味) で、標高 1500~2000 メートルの高地にある。シナ・チベット語族のチベット・ビルマ語派の言語で、メイテイ語を第一言語とする「マニプル語」を話す。人種的にはモンゴロイドに属する。農業は米が主で果汁栽培もされている。1714年にヒンドゥー王国となり、1972年に州となった。

はやくからキリスト教宣教師が入り、山岳民族のほぼ 100%がキリスト教徒である。但しメイテイ族だけはヒンドゥー王のためヒンドゥー教徒である。

モンゴロイド系なので、顔はわれわれに似ている。日本とも若干関係がある。1944年日本軍がビルマからマニプルに侵入した歴史がある。いわゆるインパール作戦である。陸軍中将牟田口廉也が指揮した史上最悪の作戦といわれている。日本兵 3 万人が死亡した。

ロトパチン丘 (2926 高地) の中腹に潜んでいた日本兵が戦死した場所に、1994年「インド平和記念碑」が建立された。

2019年にインパールに「資料館」が開設され、現地で見つかった兵士の遺留品、巻き込まれて亡くなった現地の人々の名前を刻んだプレートなどが展示されている。かつて慰霊団がインパールを訪問したが、近年はみられない。

最後に、集客ゼロから何名の観劇者があったか記録に残しておこう。驚くことなかれ、約 450 名の来場者があった。実に大魔神の集客力は絶大で鳥取銀行、会社関係者など多数ご来場いただいた。もちろん県庁職員の皆さまの尽力のお蔭もある。

わが輩は大魔神ばかりに頼っていたのではない。わがミトラ城の旧スタッフ薫ちゃん、鳥取大学教授学生の皆さま、日本ヨーガニケタンの皆さま、まねまねヨーガの伊藤華野さま、鳥取環境大学の皆さま、鳥取アーユルヴェーダ研究会の皆さまなどにご尽力頂いた。お蔭さまで、わが輩に集客ゼロというトラウマは発症しなかった。

追記：大魔神はインド嫌いか。とんでもない。近年わが輩と二回インドにいき、毎朝チャイを飲まないで元気がでないインド最良なのである。